

江間交差点の立体化で、週末・観光シーズンの渋滞が解消！
→ 伊豆地域への来訪時間短縮！ 定時性も確保！



効果 1 「新しいひとの流れをつくる」
伊豆の国市の地方創生に寄与！

伊豆の国市役所 担当者の声

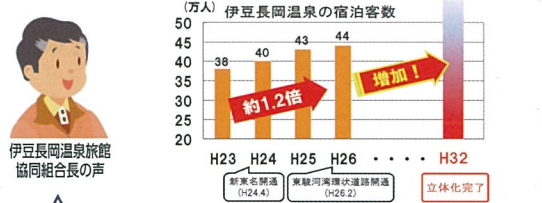
伊豆の国市では、世界遺産に登録された韮山反射炉、伊豆長岡温泉等の豊富な観光資源と、自然・食などの地域資源を連動させながら、観光交流人口の増加を目指しています。江間交差点の立体化により、人の流れが円滑になり多様な交流がより一層拡大していくことで観光人口や定住人口の増加につながります。また、交通アクセスの向上に伴い企業誘致を行うことで新たな雇用が創出されると期待されます。

効果 2 韮山反射炉を中心とした
新たな観光ルートの創出が期待！

伊豆の国市観光協会事務局長の声

世界遺産を含めた新たな観光ルートを検討しています。江間交差点の立体化により、市内の滞在時間が増加し、新たな観光ルートが創設されることが期待されます。

効果 3 伊豆長岡温泉の
宿泊客数の更なる増加が期待！



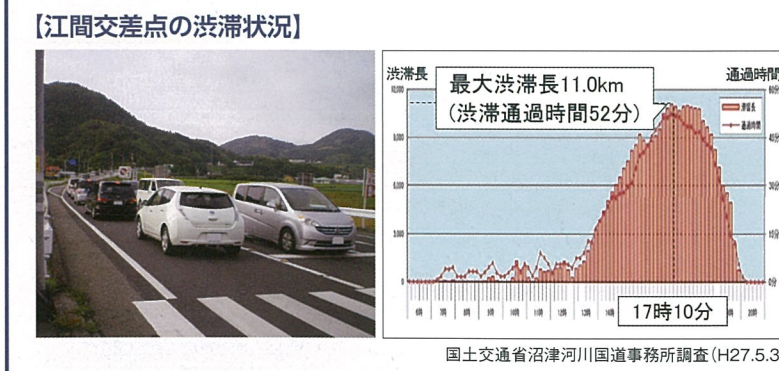
高規格幹線道路の開通により来客圏が拡大しています。特に埼玉・群馬など北関東からの観光客が増えており、江間交差点の立体化により、宿泊者数の更なる増加が期待されます。

効果 4 JA農産物直売所の
売り上げの更なる増加が期待！



道路整備の効果と相まって、直売所の年間売り上げが年々増加しています。江間交差点の立体化により、更なる増加が期待されます。

【ストック効果】とは、社会資本の整備により、生活が便利になったり、災害を未然に防止し生活に安心をもたらしたり、地域が活性化する効果などを言います。



静岡県沼津土木事務所
〒410-0055 沼津市高島本町1-3
TEL.055-920-2218 FAX.055-920-6684

静岡県道路公社東部管理センター
〒410-2325 伊豆の国市神島45-3
TEL.0558-76-5718 FAX.0558-76-5719

この印刷物は再生紙を使用しています。【H29.3】



国道136号(有料道路「伊豆中央道」)

江間改築事業

東名・新東名から伊豆市までの約30kmの間で、
唯一残る平面交差点を立体化

江間改築事業の概要

伊豆中央道は、国道136号バイパスの一部を形成する有料道路で、昭和60年4月に供用を開始しました。平成26年2月には、伊豆縦貫自動車道の一部である東駿河湾環状道路と直結し、東名・新東名から伊豆市までが一連の道路でつながり、伊豆半島の付け根部分の道路ネットワークが大幅に強化されました。将来的には伊豆縦貫自動車道が沼津市から下田市までつながることになりますが、全線完成までの間、伊豆中央道を含む国道136号バイパスは、伊豆縦貫自動車道の役割を担っていくことになります。

このような中、伊豆中央道の江間交差点は、東名・新東名から伊豆市までの約30kmの間で唯一残る信号交差点であり、伊豆地域が観光で賑わう休日を中心に慢性的な渋滞が発生しています。このため、静岡県と静岡県道路公社は、国の有料道路事業変更許可を受けた上で、当該交差点の立体化及び立体化に伴う道路(オン・オフランプ)の付替え事業「江間改築事業」を進めています。

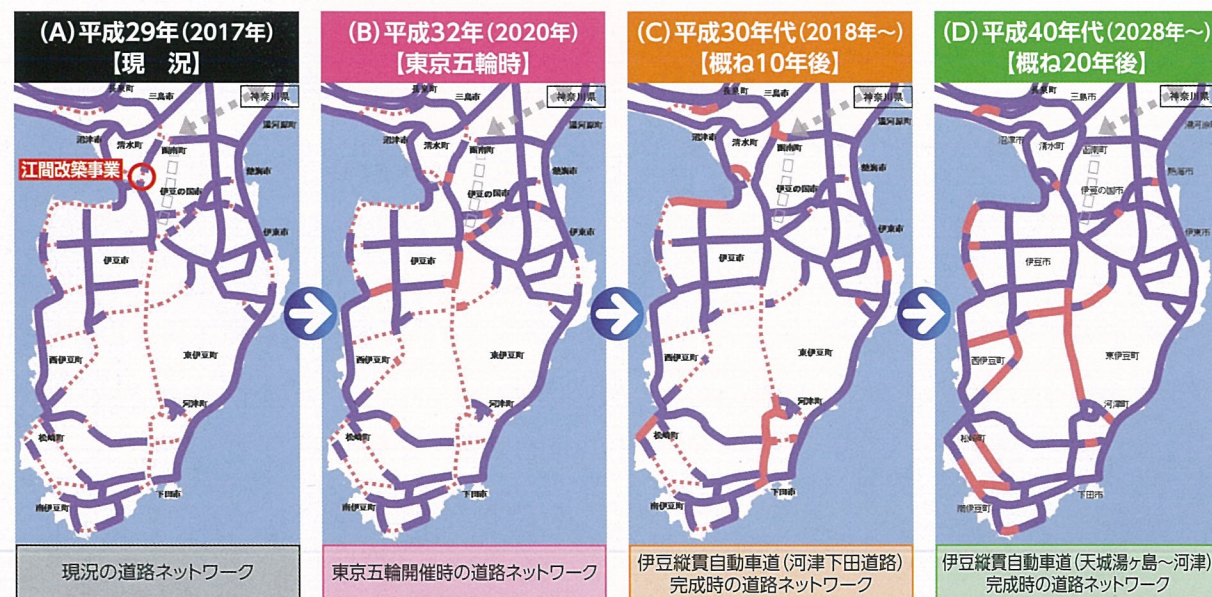
江間改築事業の動き	伊豆縦貫自動車道など伊豆地域の道路等の動き
H24. 8	「伊豆地域の道路整備のあり方」策定(県)
H25.10	道路公社が、有料道路事業変更許可を申請
H25.12	国土交通省中部地方整備局が、上記申請を許可
H26. 2	県が、測量、調査、設計に着手
H26. 4	東駿河湾環状道路(三島塚原IC~函南塚本IC)開通(国)
H27. 7	天城北道路(大平IC~湯ヶ島IC(仮称))がH30年度に開通見通し(国)
H27.11	県が、用地買収に着手
H27.12	伊豆縦貫自動車道(天城峠を越える区間)が計画段階評価に着手(国)
H28. 2	日本サイクルスポーツセンターが東京オリンピック自転車競技の会場に決定 ※H28.4には東京パラリンピック自転車競技の会場にも決定
H29. 2	県及び道路公社が、工事着手
	「伊豆半島の道路網整備実施計画」策定(伊豆半島道路ネットワーク会議)

伊豆半島の道路網整備実施計画(平成29年2月)

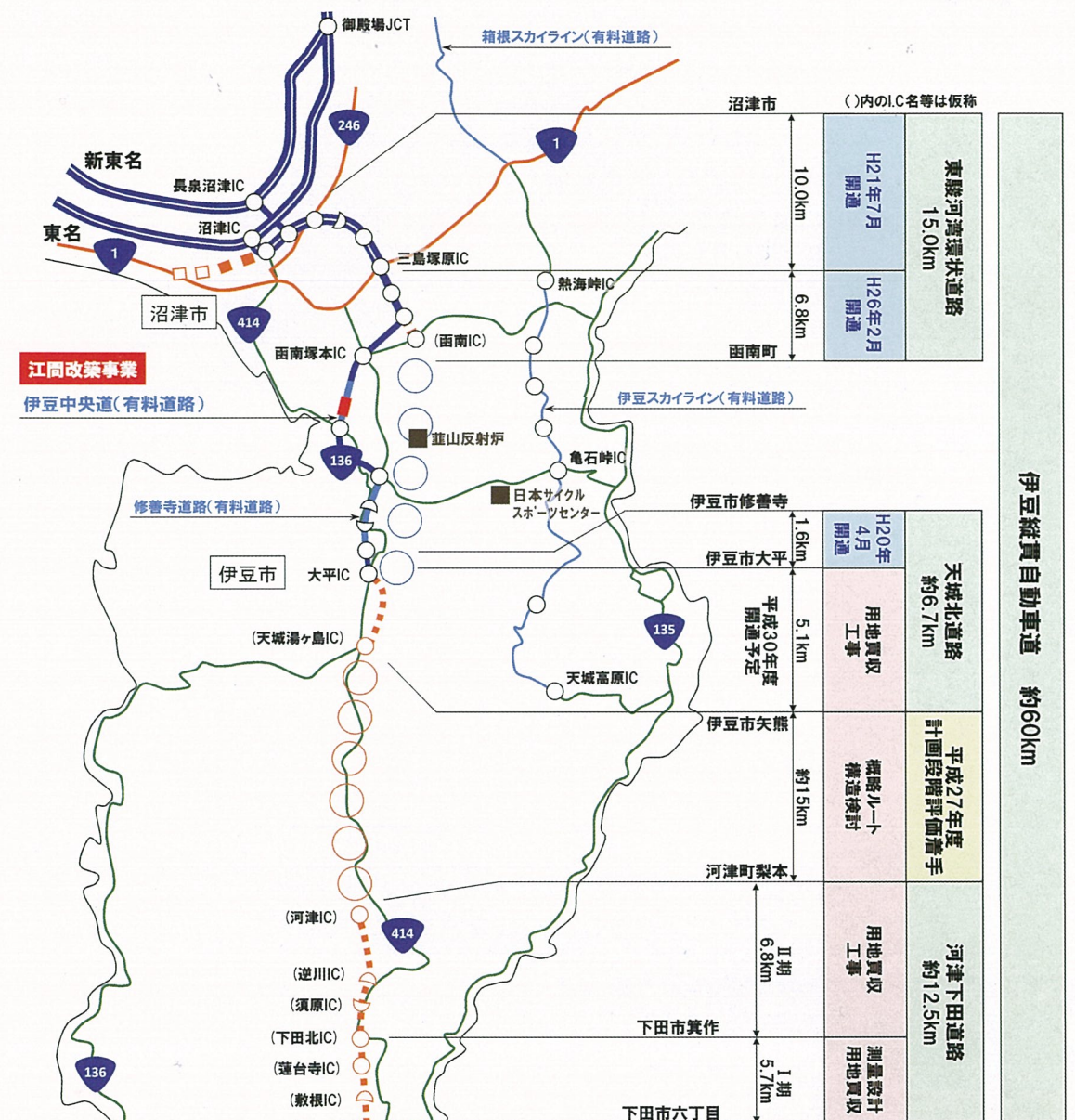
伊豆半島の道路網のあるべき姿

【世界的な観光地にふさわしい信頼性の高い道路ネットワークの整備】

伊豆縦貫自動車道を背骨として、肋骨となる国県道、幹線市町道を含む地域全体の道路網の整備



伊豆地域の道路概要図



【伊豆地域の「背骨」となる伊豆縦貫自動車道の概要】

諸元

事業主体/国土交通省 及び 静岡県
 区 間/沼津市~下田市
 延 長/約60km
 設計速度/80km/h
 4車線(一部完成2車線)

伊豆縦貫自動車道の役割

- 観光を中心とした産業の活性化
- 救急医療施設への患者の搬送路
- 災害、事故発生時の迂回路、緊急輸送路

東駿河湾環状道路
 全線開通時(H26.2)

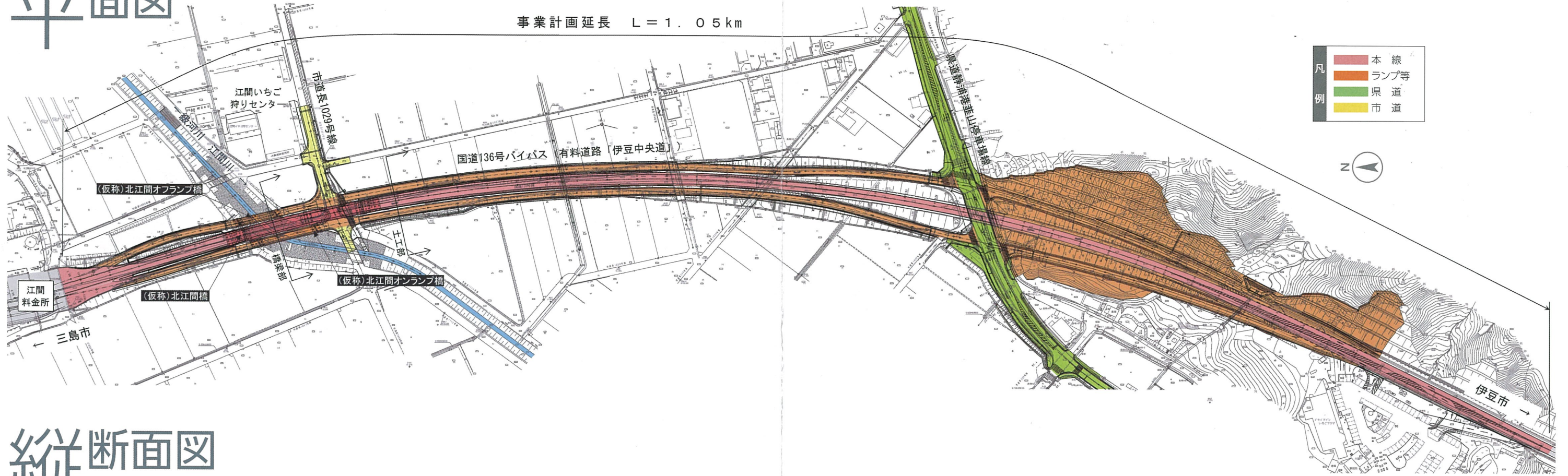


伊豆縦貫自動車道
 全線開通時

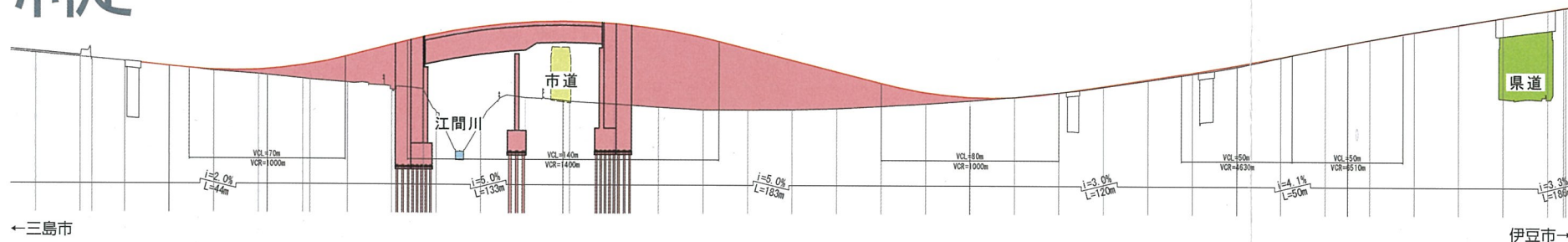


平面図

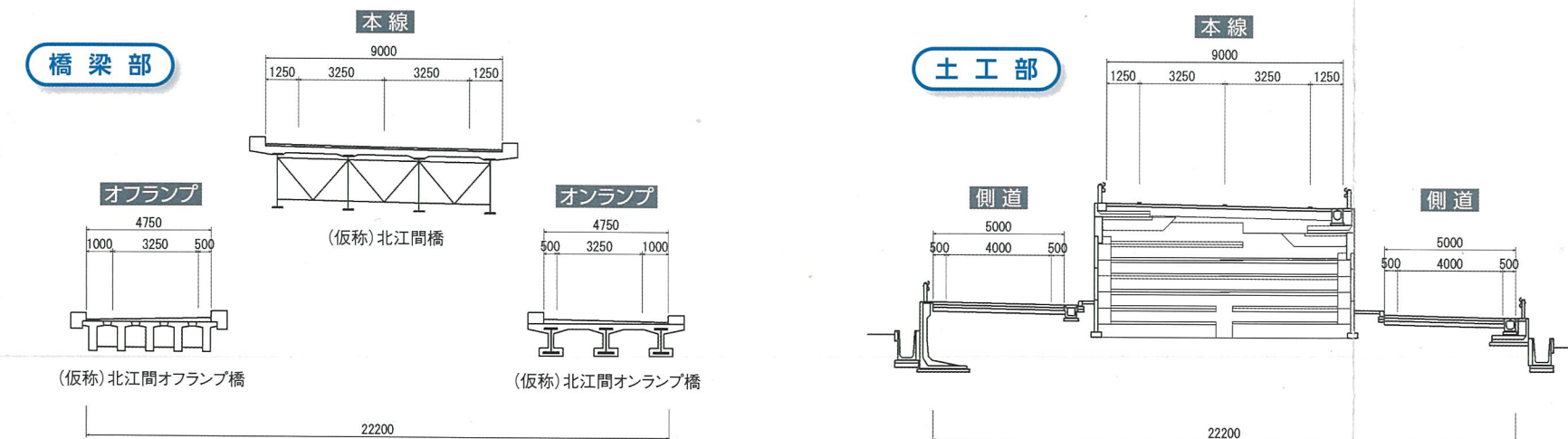
事業計画延長 L = 1.05 km



縦断面図



標準横断面図



伊豆地域での取組「東京五輪会場アクセス道路整備事業(静岡県)」

東京五輪会場に正式決定となった「**日本サイクリススポーツセンター**」へのアクセス道路として、要対策箇所の整備を集中的に実施することにより、選手、大会関係者及び観客等の安全、快適な移動確保を図ります。

- 【概要】**3路線5箇所の整備
【事業期間】H28～H31(4カ年)
【事業箇所】
- ①(主) 熱海大仁線 — 交差点改良
 - ②(主) 熱海大仁線 — 道路拡幅
 - ③(国) 136号BP — 道路改築
 - ④(主) 伊東大仁線 — ゆずりあい車線
 - ⑤(主) 伊東大仁線 — ゆずりあい車線

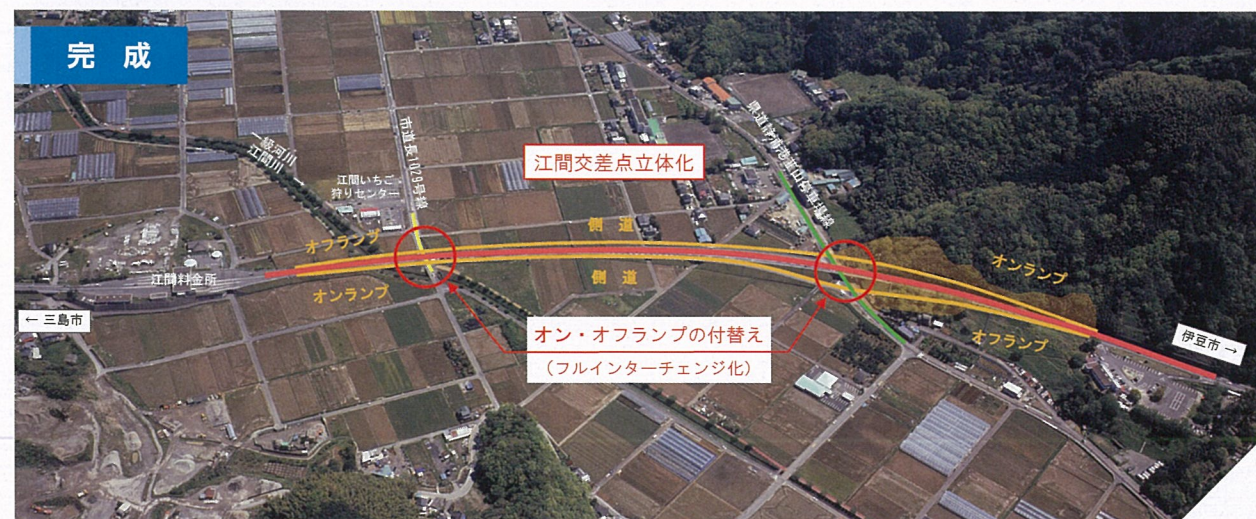


事業計画概要

有料道路名	伊豆中央道
路線	国道136号バイパス
事業方式	公共事業・有料道路事業、合併施行方式
区間	静岡県伊豆の国市南江間～北江間
延長	1.05km

本線	道路の区分	3種2級
	設計速度	60km/h
	車線数	2車線
ランプ	ランプ種別	D規格
	設計速度	30km/h
	車線数	1車線

完成イメージ

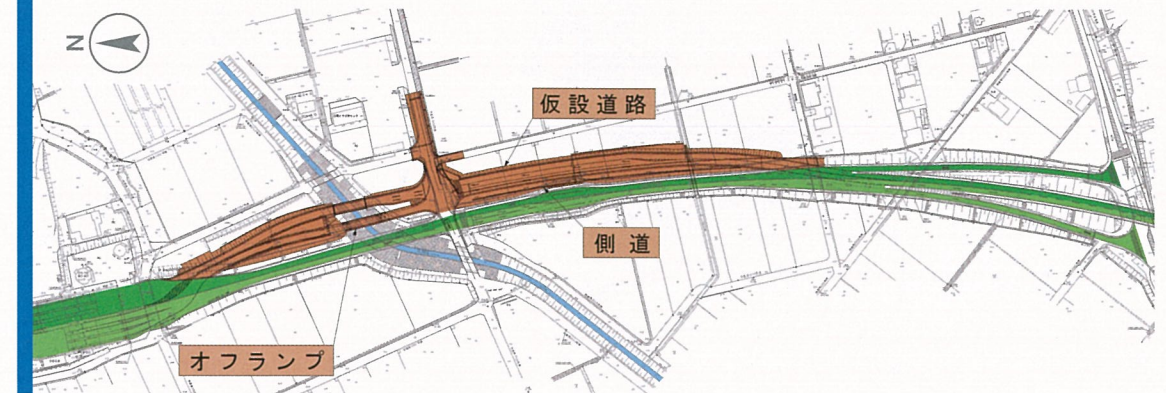


施工計画 (江間交差点の立体化部分)

凡例	施工箇所
	本線交通

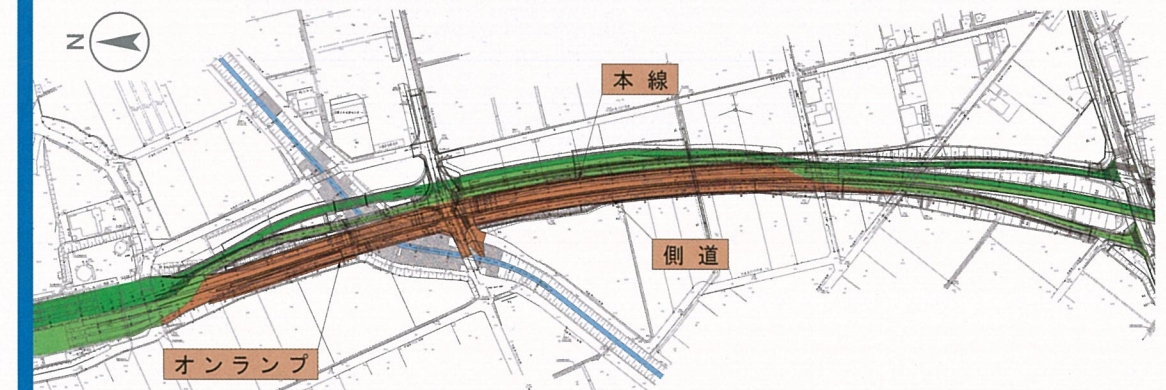
施工ステップ 1

本線交通を通しながら、東側にオフランプ、側道及び仮設道路を施工し、迂回路を完成させます。



施工ステップ 2

完成した迂回路に本線交通を切り回し、本線、西側のオンランプ及び側道を施工します。



施工ステップ 3

完成した本線に交通を切り回し、仮設道路を撤去します。

